

崇峻天皇御書

御書新版  
御書全集

1596 7行目〜10行目  
1173 14行目〜16行目

三種財宝御書

「中務三郎左衛門尉は、主の御た

めにも、仏法の御ためにも、世間の

心ねも、よかりけり、よかりけり」と、

鎌倉の人々の口にうたわれ給え。あ

なかしこ、あなかしこ。蔵の財より

も身の財すぐれたり、身の財より心

の財第一なり。この御文を御覧あら

んよりは、心の財をつませ給うべし。

通解

「中務三郎左衛門尉（＝四条

金吾）は、主君に仕えることに

おいても、仏法に尽くすことに

おいても、世間における心がけ

においても、素晴らしい、素晴

らしい」と、鎌倉の人々の口に

うたわれていきなさい。蔵に蓄

える財宝よりも身の財がすぐ

れ、身の財よりも心に積んだ財

が第一である。この手紙をご覧

になってから以後は、心の財を

積んでいきなさい。